

仁井田中学校同窓会会報



あかし

〒962-0402

福島県須賀川市仁井田

字北明石田30

仁井田中学校

同窓会長 吉村 博

☎ (0248) 78-2030

コロナ禍を経た現在の学校教育

令和5年5月に新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、世の中も少しずつ以前のような日常生活が戻ってきています。

仁井田中学校でも少しずつ以前のような学校生活を送ることができるようになってきました。

しかし、新型コロナウイルスが完全に終息したわけではなく、今年はまだ早い時期からのインフルエンザの流行などもあり、まだまだ感染症拡大予防対策を行いながらの学校教育となっています。

数年前の新型コロナウイルスの拡大に伴う休校、その後の感染症対策を行いながらの学校生活は、生徒達の生活に様々な制限を伴うものとなりました。

この間の生活は、生徒達にとって、これまでにない未知のものとの戦いの難しさであったり、答えが見つからないものに対し、自ら考え判断し、行動する力を育ててくれたと思います。

この同窓会会報「あかし」につきましても、昨年度、令和4年度の発行の第44号でお知らせしましたように、今号から仁井田中学校のホームページへの掲載となりました。

仁井田中学校のホームページにアクセスしていただければ、いつでも閲覧が可能となっておりますので、お時間のあるときにご一読いただければ幸いです。

なお、ホームページには、同窓会のコーナーを設けてありますので、ご利用ください。記事の掲載などのご要望がありましたら、下記仁井田中学校教頭へご連絡をいただきたいと思ひます。

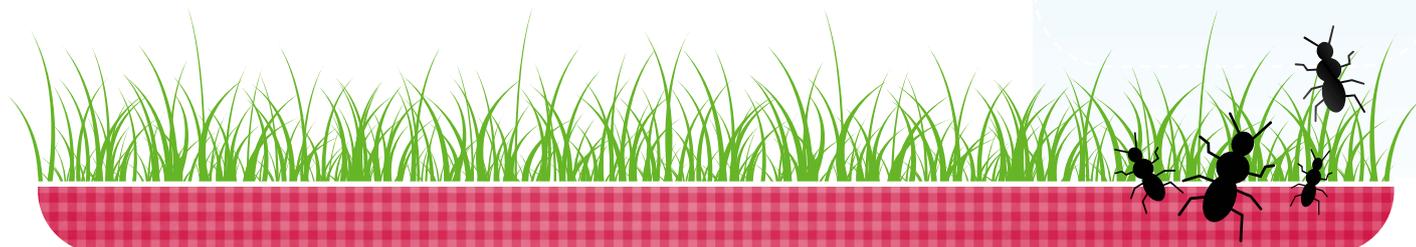
仁井田中学校 ☎0248-78-2030

本号の内容

現在の学校教育について.....1	
同窓会会長より.....2	
校長より.....2	
仁井田CC長より.....3	
PTA会長より.....3	
学校評議員より.....3	
お知らせ その他.....4	

この後のおもな行事

3/8	同窓会入会式
〃	同窓会役員会
3/23	卒業式
3/22	修了式
4/8	入学式



震災から学ぶ

同窓会会長 吉村 博

新春を迎え、皆様にはご健勝の事と心よりお慶び申し上げます。今年はコロナウイルス感染症が第5類に変更となり、行動もある程度緩和されましたが、まだまだま予断ができません。会報誌「あかし」も仁井田中学校ホームページにて閲覧できるようになり、皆様も更なるご活用をお願いします。

さて、新年より、能登半島地震が発生し、亡くなられた方にお悔やみ申し上げます。被災された皆様にお見舞い申し上げます。2011年の東日本大震災を体験した当時の状況を思い出し、同じような光景をテレビより観て、心が痛みます。13年前と比べると、メールなどの情報の多さが目立ち、応援態勢が少し変化し、避難者が協力して生活しています。その中でも、中学生の集団避難が心配です。今まで一緒に学んできた友と一時的に離ればなれになり、色々と考えさせられます。これを機に友達との親交を深め、中学生の皆様の心身を大切に願います。

気になるのは、メールの文章で、人の顔が見えず、良し悪しが投稿されており、相手の受け取り方がさまざまです。その対応として、初めは話しにくいので「元気な挨拶」から、家庭の親・兄弟・親戚、それから中学校の同級生・先輩・後輩・先生、仁井田地域の交通専門委員や各種団体等・隣人、社会で、人と話をするときは、顔を見て話をすれば相手の話を理解でき、友達もでき、地域に協力し、社会的にも貢献でき、自分も成長し、将来役に立ち、数年後には良い思い出になりますように、対話をしましょう。

最後になりますが、皆様のご繁栄、ご多幸、ご健勝を願ひまして挨拶といたします。

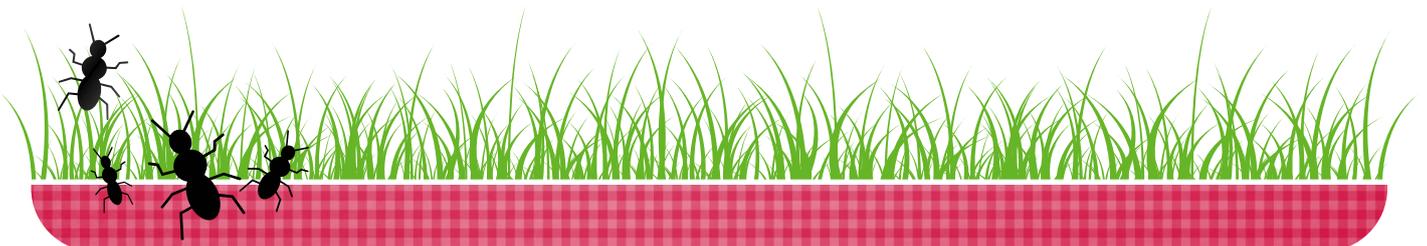
子どもたちのよりよい人生のために

校長 中瀬 宏昭

同窓会の皆様には、日頃より中学校の教育活動に深いご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。現在、中学校は新型コロナウイルス感染症の驚異からは解放され、以前のような教育活動を行うことができます。今回の対応では、震災時と同様、答えというものが全くない中で、いかに最適解を生み出していくのか、「Error&Learn」の繰り返しでした。前例踏襲は叶わず、その都度状況を的確に判断し、新しい発想で取り組むことが求められました。

しかし、このような環境だからこそ、改めて、学校が共助のためのコミュニティであることを再確認できました。画一的な発想から脱却し、達成すべき上位目標に向かって、多彩多様な意見を持ち寄り、最適解を探し、行動する。失敗してもそこから学び直し、さらにより良い解を求めて行動する中で、お互いの存在を認め合うことの大切さを学び直すこともできました。また、客体を意識しながら自らが行うべき事を考え、他と対話し、選択し、実行する主体性を育て、挑戦することを学ぶこともできました。

もちろん、学校が迷いなく突き進むためには地域の皆様のご理解とご協力が必要であることはいうまでもありません。今後とも、学校が共助のコミュニティとして挑戦できる場であるために、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



仁井田コミュニティセンターより

仁井田コミュニティセンター長 大竹 賢一

仁井田コミュニティセンターでは、中学生を対象に「ジュニアボランティア研修講座」を開催しております。

この講座は、地域行事等にボランティア参加することで、地域の方々と積極的にかかわり、ボランティアの意義を理解して主体的に活動できる青少年の育成を目的としております。

令和5年度は、生徒22名の参加を得て、先生方や保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら計8回実施しました。

4年ぶりに開催した地区体育祭では、競技準備や審判などを役員の方々と行い、地区文化祭では、昔遊びコーナーで小さな子供達に木工やコマ回しを優しく指導するなど、一生懸命取り組んでいただき、地域の方々からは、頼もしさや希望を感じる声とたくさんの「ありがとう」が寄せられました。

学校生活だけでは得られないこの経験が、人間形成と地域愛、そして地域の活性化に繋がっていくことを願うとともに、生徒の皆さんの今後益々の活躍を期待しています。



愛校心に感動

PTA会長 鈴木 幸作

コロナ禍も明け、一回目の奉仕作業が親子共同にて実施予定でしたが、生憎の雨にて中止となり、校庭や学校周辺の雑草が気になっておりました。そんな中、生徒会が中心となり、生徒達による奉仕作業が実施されたこと、大変喜ばしく思います。自分達の学校の為に今、「何が出来るか」、「どのように出来るか」、「どうすれば出来るか」を考えた上の結果です。

今後も仁井田中の生徒として、愛校心を持ち続けてほしいと思います。

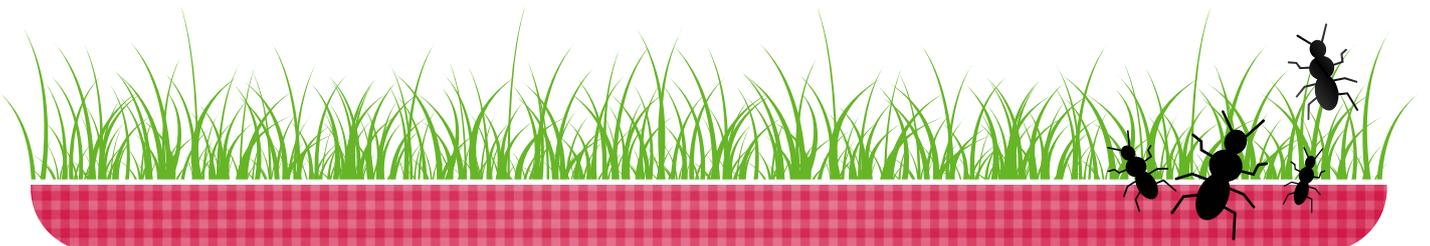
コミュニケーションの大切さ

学校評議員 吉田 博道

学校生活では、部活動、授業などを一つ一つ集中して取り組む姿勢素晴らしく思います。日々の生活リズムがしっかりしているからだと思います。

これから先、大切にしていきたい事、それはコミュニケーションです。その中の3つをあげるとしたら、1つ目、互いに声を掛け合う笑顔の「あいさつ」。学校の仲間がお互いに大切な存在であることを伝え合う。2つ目、授業中楽しく和気あいあいの中で、学習の内容などを共有し、わからないままにしない。3つ目、感謝の声「ありがとう」。言った人も言われた人も互いの心を満たすことができます。

この3つの行動で、より一層学校の雰囲気柔らかく優しくなれると思います。先生も生徒も遠慮をせずに話せる環境づくりをしてください。



同窓会からのお知らせ

令和4年度に行われました役員会において、同窓会の今後のあり方について、協議を行い、以下のように変更がなされていますので、再度ご確認とご了承をお願いいたします。

1 協賛金について

協賛金については、令和5年度より募集しないこととする。

2 会報「あかし」について

毎年発行し、郵送させていただいておりました会報「あかし」については、協賛金を募集しないことに伴い、令和5年度以降は仁井田中学校のホームページに掲載することとする。内容についても厳選を図っていく。

なお、仁井田中学校のホームページ内に同窓会のコーナーを設けましたので、ご活用ください。連絡等がありましたら、仁井田中教頭へご連絡をいただきたいと思います。

須賀川市立仁井田中学校

住所:須賀川市仁井田字北明石田30
電話: 0248-78-2030
FAX: 0248-78-2035
電子 メールアドレス
niida-j@fcs.ed.jp
仁井田中ホームページQRコード



令和5年度会計報告

◇収入総額	140,645 円
◇支出総額	18,200 円
◇差引残高	122,445 円

※なお、残金は会計に繰り入れさせていただきます。

